

ふるさと納税に関する現況調査

< I. ふるさと納税の受入額について >

1. これまでのふるさと納税の受入金額の実績について記入してください。

※個人からの寄附件数・金額を記入してください。ただし、個人・法人からの寄附の区別ができない場合は、合算額を記入し、「個人・法人を区別することができない」に○を入れてください。

※市区町村内・市区町村外(都道府県内・都道府県外)からの寄附の区別ができない場合は、右欄には「-」を記入してください。

※寄附件数及び寄附金額については、各市区町村(各都道府県)で「ふるさと納税」と整理しているものを記入してください。(その結果として、ふるさと納税の募集等を開始する以前の年度等の寄附について「0」との回答をいただくこともあり得ます。)

※ふるさと納税とそれ以外の寄附を明確に区分していない場合には、寄附金収入全体をふるさと納税として、普通決算統計上の寄附金額を回答していただいても結構です。

※数字を入力する場合には、半角で入力してください。

①-1 平成27年4月～9月末までの寄附額の実績

| 平成27年4月～9月末までに受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|----------------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 1,346 | 17,815,000 | | 1,345 | 17,795,000 | |

①-2 平成26年4月～9月末までの寄附額の実績

| 平成26年4月～9月末までに受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|----------------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 10 | 275,000 | | 9 | 245,000 | |

② 平成26年度の寄附額の実績

| 平成26年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 27 | 1,348,000 | | 23 | 948,000 | |

③ 平成25年度の寄附額の実績

| 平成25年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 34 | 6,328,000 | | 20 | 1,378,000 | |

④ 平成24年度の寄附額の実績

| 平成24年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 23 | 2,753,000 | | 17 | 1,073,000 | |

⑤ 平成23年度の寄附額の実績

| 平成23年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 20 | 1,275,000 | | 11 | 445,000 | |

⑥ 平成22年度の寄附額の実績

| 平成22年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 15 | 1,137,000 | | 12 | 687,000 | |

⑦ 平成21年度の寄附額の実績

| 平成21年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 25 | 2,573,000 | | 19 | 1,723,000 | |

⑧ 平成20年度の寄附額の実績

| 平成20年度に受け入れた寄附件数、金額 | | | 左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの | | |
|---------------------|-------------|-------------------|------------------------------|-------------|-------------------|
| 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない | 寄附件数 (件) | 寄附金額 (円) | 個人・法人を区別することができない |
| 24 | 1,640,000 | | 23 | 1,615,000 | |

・以上の実績額の推移についての考えを記入してください。大きな増減がある場合は、考えられる理由を記入してください。

平成27年度から寄附者に対して返礼品を贈呈することとしたため件数が増加したと考えられる。

(上記寄附金額の実績について、ふるさと納税とそれ以外の寄附を明確に区分していない場合で、普通決算統計上の寄附金額を記入した団体にあつては、下記記入欄に「○」を記入してください。)

< II ふるさと納税を募集する際の取組について >

2. ふるさと納税を募集する際に工夫している取組について記入してください(ふるさと納税を財源として実施する事業を具体に明示する、出身者の集い等の機会に重点的にPRする等)。また、その工夫をすることとした理由を記入してください。

美唄出身者で、現在首都圏等に居住されている方々へのPRや観光イベントでのPRに取り組んでいる。

3. ふるさと納税を募集する際に、使途(ふるさと納税を財源として実施する事業等)を選択できるようにしていますか。

①…選択できる ②…選択できない

①

・(上記で①を選択した場合) 選択できる範囲について該当するものを選択してください。

A…分野を選択 B…分野又は具体的な事業を選択 C…具体的な事業を選択

B

・(上記でB・Cを選択した場合) 具体的な事業名について、代表的なものを3つ記入してください。

①

②

③

| | | |
|----------------|------------|--|
| アルテピアッツァ美唄整備事業 | 交流拠点施設整備事業 | |
|----------------|------------|--|

<Ⅲ.ふるさと納税に係る寄附金を活用して実施した(する)事業について>

4. ふるさと納税を財源として実施する事業について、平成26年度実施事業及び平成27年度実施事業(予定を含む。)をそれぞれ3つ((ふるさと納税充当額が多い順に3事業)について、「事業名」、「事業費」、「事業費のうちふるさと納税充当額」)を記入してください。

(単位:千円)

| 区分 | 平成26年度実施事業 | | | 平成27年度実施事業 | | |
|----|-------------|-------|--------------|-------------|-------|--------------|
| | 事業名 | 事業費 | うち、ふるさと納税充当額 | 事業名 | 事業費 | うち、ふるさと納税充当額 |
| 1 | バス路線維持費補助事業 | 7,749 | 充当額の明示はしていない | バス路線維持費補助事業 | 9,207 | 充当額の明示はしていない |
| 2 | 青少年健全育成事業 | 1,194 | 充当額の明示はしていない | 青少年健全育成事業 | 1,904 | 充当額の明示はしていない |
| 3 | 福祉スポーツ大会事業 | 632 | 充当額の明示はしていない | 福祉スポーツ大会事業 | 674 | 充当額の明示はしていない |

※返礼品等に要したのやふるさと納税事業に係る事務費等は除きます。

・上記事業の実施がどのような効果を生んでいますか。また、どのような効果を期待していますか。経済的効果やそれ以外の効果について、それぞれ記入してください。

【経済面での効果】

地域経済の活性化及び雇用機会の増加に繋がるものと考えられるが、具体的な効果額等は把握できていない。

【経済面以外での効果】

- ・バス路線維持費補助事業 ～ 市内のバス路線を維持することによって、市民の利便性を確保することができる。
- ・青少年健全育成事業 ～ 地域の子供たちの交流と子ども会活動活性化のためのリーダーを養成するなど青少年の健全育成を図ることができる。
- ・福祉スポーツ大会事業 ～ 高齢者、身体障害者、母子寡婦がスポーツを通じて、体力の維持を図るとともに社会参加の促進を図ることができる。

5. ふるさと納税の受入額実績や活用状況について、特定のページを設けるなど広報媒体(団体HP、広報誌等)を活用した公表を行っていますか。また、広報媒体での広報自体は行っているものの、各年度の実績額や事業内容等を詳しく公表していない場合については、その旨と理由を記入してください。

各年度ごとの受入額実績や活用状況について市の公式ホームページや広報誌を使って公表するとともに、寄附者に対しても実績報告書を送付している。

<Ⅳ.その他>

6. 平成20年度にふるさと納税制度が創設され7年が経過しました。今後、どのように地方創生に繋げていくかも含め、ふるさと納税制度についてどう考えているか記入してください。

当市の人口は、2040年に現在の約6割まで減少するとの推計されている。この推計のとおり人口減少が進んだ場合、農業をはじめ、商店や商業施設の廃業・撤退、これに伴う雇用機会の喪失による若者の域外流出など、地域経済及び行政サービスの維持に多大な影響を及ぼすことが予想される。ふるさと納税については、大都市圏をはじめ、市外から寄附を受けることにより、子育て環境の整備や教育といった行政サービスの維持、さらには向上に繋がるとともに、市内で生産・加工・販売される特産品などを返礼品として贈呈することで、地域経済の活性化及び雇用機会の増加に繋がるものと考えられることから、本市としては、ふるさと納税の活用の充実と返礼品のPRを合わせて行うなど、ふるさと納税の拡大を進めていきたいと考えている。

7. 平成27年度税制改正(特例控除の上限額の引上げ、ふるさと納税ワンストップ特例制度の創設)について、どう受けとめていますか。また、広報や、ふるさと納税ワンストップ特例制度の運用において工夫している点(予定を含む。)があれば、併せて記入してください。

特例控除の上限額引上げやふるさと納税ワンストップ特例制度の創設により、寄附者にとってはふるさと納税を行やすい環境になったと考えている。

8. ふるさと納税に対する返礼品送付について、返礼品を送付している場合、返礼品を送付していない場合いずれも、その旨とその理由を記入してください。

※ここでいう「返礼品」とは、特産品等の物品や、施設の利用などのサービスが受けられる権利などのような、経済的価値を有するものを広く含むものです。

平成27年4月1日から特産品や収穫体験などの体験サービスを返礼品として贈呈開始。
市外の方々からより広くふるさと納税をしていただくことと、返礼品としてこれらが活用されることで、市外の方々への認知度向上と経済活性化に繋げていくことを目的として実施している。

・(返礼品送付有と回答した場合)返礼品について、どのようなものを用意しているか、その返礼品を選んだ視点なども含めて記入してください。

農産物、食品加工品、収穫体験や温泉宿泊券など市内で生産・加工・販売されている特産品であることや観光資源として認められるものを返礼品として選定している。

9. 返礼品をめぐるこれまでの議論や、平成27年4月1日の総務大臣通知等を踏まえ、ふるさと納税の募集方法における返礼品の取扱いについて、見直しを行いましたか。また、今後、見直しを行う予定はありますか。見直し内容、時期、方向性等について記入してください。

当市においては、ふるさと納税に対する返礼品の贈呈開始が平成27年4月1日となっていることから、当初より総務大臣通知等を踏まえて取り扱いを決めている。

10. その他、ふるさと納税制度に対する意見がありましたら、記入してください。

特にありません。

【以上】